

平成29年度行政事業レビューシート (警察庁)									
事業名	都道府県警察施設の耐震改修 (一般会計)			担当部局庁	長官官房			作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	会計課			会計課長 田中 俊恵	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第3項 警察法施行令第3条第1項			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	警察本部及び警察署は、第一線警察活動及び防災活動の拠点として、大規模地震発生時においても治安対策に万全を期すため、その機能を確保する必要がある。このことから、警察本部及び警察署の早期耐震化を促進するため、耐震改修に要する経費を補助しているもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成28年度においては、警察署3施設の耐震改修に要する経費を補助(10分の5)している。 ※ 東日本大震災復興特別会計事業としては平成24年度当初限りで廃止した事業である(40都道府県警察施設の耐震改修(全国防災))が、平成24年度補正予算以降は一般会計で実施。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	756	878	64	101	125		
		前年度から繰越し	115	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	16	252	21	-	-		
		予備費等	▲ 252	▲ 21	-	-	-		
		計	52	-	-	-	-		
	執行額	687	1,109	85	101	125			
	執行率 (%)	687	913	80					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	79%	104%	125%						
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	補助金	101	125	平成29年度の耐震改修工事については、実際に工事に必要な金額を算定基準に基づき算出したため、予算額が抑えられた。					
	計	101	125						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
定量的な成果目標の設定	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標 都道府県警察の施設について、都道府県警察が耐震化が必要であると判断したものについて、補助金を交付するものであり、国として定量的な目標を設定することは困難。			【定性的な成果目標】 都道府県警察施設の早期耐震化を促すため必要な補助を行う。 (施設整備に関しては、1事業が終了するまでに複数年かかるため、代替指標として当該年度に完成した施設数を記載し、活動指標として当該年度に着手した施設数を記載) 【26~28年度の達成状況・実績】 都道府県警察の早期耐震化に対して必要な補助を実施してきた。					

が困難な場合	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度		
		警察施設の耐震化	警察施設の耐震化施設数	実績	施設	12	30	3	-	29 年度		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	当該年度に新たに施設整備に着手した警察施設			活動実績	施設	23	1	2				
				当初見込み	施設	15	1	2	6			
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	執行額/施設数			単位当たりコスト	千円	22,906	45,665	26,825	16,894			
				計算式	千円/施設数	687,181/30	913,303/20	80,475/3	101,365/6			
が困難な場合	政策	1 市民生活の安全と平穩の確保										
	施策	1 総合的な犯罪抑止対策の推進										
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度	
		地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(重要犯罪(注)) (注) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ			実績値	件	13,865	12,323	11,300	-		
					目標値	件	14,504	14,371	13,907	-	13,309	
		定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度	
		地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(住宅対象侵入犯罪(注)) (注) 住宅強盗、空き巣、忍込み、居空き及び住居侵入			実績値	件	65,140	61,772	54,278	-		
					目標値	件	87,789	80,360	74,014	-	67,754	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	治安維持の拠点となる警察署や交番等の警察施設について整備することにより、地域住民の安全を脅かしている犯罪の抑止につながる。											
	政策	1 市民生活の安全と平穩の確保										
	施策	2 地域警察官による街頭活動及び初動警察活動の強化										
測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度		
	刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合			実績値	%	75.3	73.8	72.5	-			
				目標値	%	77	75.3	73.8	-	72.5		
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
治安維持の拠点となる警察署や交番等の警察施設について整備することにより、地域警察官の検挙力の向上につながる。												
政策	1 市民生活の安全と平穩の確保											
施策	3 悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止											
測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度		
	悪質商法等(注)の検挙事件数 (注) 利殖勧誘事犯、特定商取引等事犯及びヤミ金融事犯			実績値	事件	635	634	683	-			
				目標値	事件	550	635	634	-	683		

政策評価

測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	人	1,115	974	1,013	-	
	目標値	人	1,130	1,115	974	-	1,013	
測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	事件	839	749	790	-	
	目標値	事件	922	839	749	-	790	
測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	人	1,285	1,161	1,213	-	
	目標値	人	1,408	1,285	1,161	-	1,213	
測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	件	35,886	29,207	24,191	-	
	目標値	件	33,680	35,886	29,207	-	24,191	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
治安維持の拠点となる警察署や交番等の警察施設について復旧することにより良好な経済活動の確保及び環境破壊等の防止につながる。								
政策	2 犯罪捜査の的確な推進							
施策	1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上							
測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	%	70	73.2	76.7	-	
	目標値	%	64.2	65.1	67	-	69.6	
測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	%	50.5	53.6	55.1	-	
	目標値	%	49.4	49.1	50.2	-	51.4	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
治安維持の拠点となる警察署や交番等の警察施設について整備することにより、重要犯罪・重要窃盗犯の検挙につながる。								
政策	2 犯罪捜査の的確な推進							
施策	2 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化							
測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		実績値	事件	53	32	33	-	
	目標値	事件	46	48	45	-	38	

指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度	
							-	年度	29	年度
経済的不正事案の検挙状況	実績値	事件		37	36	34	-			
	目標値	事件		81	68	59	-		48	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
治安維持の拠点となる警察署や交番等の警察施設を整備することにより、政治・行政をめぐる構造的不正事案の検挙及び経済的不正事案の検挙につながる。 なお、警察庁の政策評価における2-3、2-4、2-5、3-1、3-2、4-1、4-2、4-3、5-1、5-2、5-3、6-1及び7-1についても関連する。										
改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度	
		成果実績	-						-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度	
		成果実績	-						-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-										
事業所管部局による点検・改善										
国 必 要 性	項 目			評 価	評 価 に 関 す る 説 明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	警察活動の基盤施設の整備事業であり、安心・安全な社会の実現という観点から国民のニーズは高い。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	警察法及び警察法施行令の規定により、国がその一部を補助することとされている。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	安心・安全な社会を実現する上で、第一線警察活動の拠点となる施設を整備することは必要不可欠であり、その優先度					
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	競争入札を実施し、競争性の確保を努めた。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	警察法及び警察法施行令の規定に基づき、都道府県警察に要する経費の応分の負担を行っている。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	契約に際しては一般競争入札を促進することとしており、コストの水準は妥当なものである。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	都道府県警察施設の整備に要するものに限定されている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					
事 業 の 有 効 性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	繰越額は全額、本事業を適正に実施するに当たり必要となるため妥当である。					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	情勢に応じて補助金単価等の見直しを検討するなどしてコスト削減を図っている。					
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-	-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-					
関 連 事 業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	概ね見込みどおりの活動実績を上げている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	整備された施設は、都道府県警察において十分に活用されている。					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第2条に規定する特定被災地方公共団体及び特定被災区域に所在する警察施設については、復興庁で予算計上している。					
	所管府省名	事業番号	事業名							
復興庁		都道府県警察施設の耐震改修(被災地)								

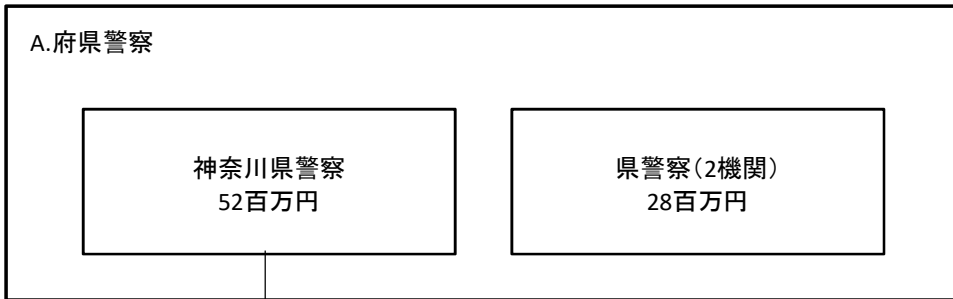
点検・改善結果	点検結果	補助金等に係る予算の適正化に関する法律に基づき、年度終了後に実績報告を受け、当該年度における執行状況を確認している。 また、毎年度、警察庁、管区警察局において、全部局を対象に、会計監査を計画的に実施していることに加え、各都道府県警察においても内部監査を計画的に実施し、支出内容を確認している。			
	改善の方向性	警察本部、警察署等の警察施設については、一般の事務庁舎とは異なり、第一線の警察活動の拠点となるだけでなく、災害発生時には、被災者の救護、応援部隊の受入等にも活用されるものであり、早期の耐震化を実施すべきである。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	特になし。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新24-11
平成25年度	41	平成26年度	35	平成27年度	26
平成28年度	24				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
80百万円

[交付申請に基づき、警察庁長官が交付決定]

【補助金】



[警察署等の耐震化を実施]

< 建設工事 >
【最低価格入札】

B. 民間会社
(1者)
261百万円

[警察署の耐震化を実施]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

